

広臨技ホームページ<http://www.hiroringi.or.jp/>  
(ケイタイサイトへ <http://www.hiroringi.or.jp/i/>)

## 第28回 広島県医学検査学会を終えて

第28回広島県医学検査学会  
実行委員長 岩増 良雄

第28回広島県医学検査学会を3月5日(土)、6日(日)の両日にわたり三次ロイヤルホテルにおいて、テーマ「臨床検査の明日を考える」として開催いたしました。初日は、前日の雪景色から一転して好天にめぐまれて暖かい日となりました。2日目6日は、午後から小雨となりましたが、両日で260名(会員204名、賛助会員56名、その他2名)と多くの方に参加していただきました。

学会に先立ち連絡責任者会議が開催され、板羽会長より公益法人制度改革により日臨技が一般社団法人への移行を決定したこと、また、広臨技も一般社団法人への意向を提案したい旨の説明がありました。また、年会費の口座振り替えの推進、標準化事業を推し進め基準値の統一化に向けての協力要請がありました。

学会は、14時15分に実行委員長の開会挨拶から始まり、シンポジウムでは、「臨床検査技師の明日への役割」と題して人材育成(技師教育として、臨地実習受け入れの立場と卒後技師教育)、臨床検査技師のチーム医療への取り組み、そして標準化と検査データ共有化の視点から4名の方に講演していただきました。続いて庄原赤十字病院内科の鎌田耕治先生には「医師から臨床検査技師への提言」と題して基調講演をいただきました。今、社会がいろいろなところで転換期と言われていきます。私たちの各施設は、設立母体、規模も違えば、技師の人数も違うなどそれぞれの施設で、これから更に一歩前進するために何をすべきかを再度考えていただけたかと思います。

鎌田先生は、自施設の臨床医と検査室(検査技師)がどのように連携して医療を行っているか、検査の各部門について具体的に示していただきました。患者様一人の診療に臨床検査をはじめ多くの職種が関わっている、これらと連携できるようにすることが重要であると締めくくられました。

その後、定期総会が開催され、平成23年度の事業計画、事業予算、公益法人制度改革による新法人は、一般社団法人として申請することが承認されました。

18時から同会場において懇親会が行われました。三次地区医師会臨床検査センターの重村和政技師、角由紀子技師のフレッシュな司会で、基調講演の鎌田耕治先生、教育講演の(6日)パク・ノウオン先生、また、ハ・ファジョン(細胞検査士)夫妻も参加され韓国語、英語、日本語が飛び交う中の交流となりました。また、お楽しみ抽選会もあり、121名の参加で楽しいひと時を過ごしました。

2日目は、午前中一般演題11題の発表があり、活発な質疑もありましたが、11時30分まで定刻に進行しました。12時のランチョンセミナーまでの時間を展示見学、休憩時間とし、展示場やロビーでの情報システム委員会のブースで質問等、情報交換が行われました。

今回は、若林信浩技師を中心に情報システム委員会のコーナーを設置していただきました。

12時から二つの会場に分かれ、「標準採血法ガイドライン」(積水メディカル株式会社)「敗血症とプロカルシトニン」(ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社)についての講演が行われました。

13時15分からの教育講演は、パク・ノウオン先生により「韓国における臨床検査技師と細胞検査士の現状」と題して、韓国における臨床検査技師、細胞検査士の資格取得、認定技師制度等について講演していただきました。尚、司会（通訳）は山陽女子短期大学の安松弘光先生にお願いしました。国際交流のためには、まずは語学を学ばないと痛感しました。広臨技もこれから特に若い技師の教育も国際化になっていく基盤ができていると感じました。

14時30分から竹本幸夫渉外法規部長の臨床検査技師の紹介があり、その後、一般公開講座が行われ備北地区消防組合警防課の救急救命士である小林勝則先生の「救急救命士の業務と病院との連携及びAED普及に伴う取扱いについて」と題して講演いただきました。救急救命士の資格取得から業務について、速い救命処置により命を守ることができた事例紹介、多くの種類があるAEDの取扱いについての内容でした。

業務は、一息入れて一つ一つの操作の確認を怠ってはいけない、また顔の見える組織（救急救命士）で有り続けるために今後も交流を願っていると結ばれました。

今回で第2回目となる一般演題優秀賞の受賞式があり、当会参与の白石幸雄先生から授与されました。この賞は、若い技師の励みになるよう参与の安松弘光先生の提案により昨年（第27回）から行われました。

受賞者は木曾仁美技師（福山市民病院）演題「当院における運動負荷ABI検査の有用性」でした。福山市民病院の皆様おめでとうございます。

最後は、丹下副会長の閉会挨拶で学会の全てを終了しました。ご支援ご協力いただきました一般会員、賛助会員、実行委員会の皆様に深く感謝申し上げます。



板羽秀之 学会長



多くの会員の方が学会参加されました



教育講演 パク・ノウオン先生



一般公開講座 小林勝則先生



「臨床検査技師の明日への役割」シンポジストの皆様

第28回広島県医学検査学会 機器展示にご協力いただいた賛助会員

フクダ電子広島販売株式会社

三光純薬株式会社

ラジオメーター株式会社

アークレイマーケティング株式会社

協和メデックス株式会社

株式会社 サンキ

シスメックス株式会社

株式会社 テクノメディカ

東洋羽毛中国販売株式会社

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

(順不同)

## 平成 22 年度 第 2 回定期(予算)総会開催される

平成 23 年 3 月 5 日（土）16：45 より三次ロイヤルホテルにおいて平成 22 年度第 2 回定期（予算）総会が開催された。

田中事務局長の司会進行により定期総会に入り、水野副会長の開会の辞に続き、板羽会長が、今年度の広臨技の事業が円滑に進み、各種行事に対する会員の皆様の協力と深いご理解を賜った事への感謝とお礼を述べた。

議長に庄原赤十字病院の広山和則技師が選出され、円滑な議事進行のため皆様のご協力を宜しくお願い致しますとの挨拶の後、下記総会役員を任命した。

総会役員には、資格審査委員兼議事運営委員に平賀祐子（井野口病院）、長岡里枝（広島大学病院）、高夫智子（済生会広島病院）、中川達也（JA 吉田総合病院）、須々井尚子（三次中央病院）の 5 名の技師、書記には丸川健一（広島市立広島市民病院）、山下美香（JA 広島総合病院）の 2 名の技師、議事録署名人には、志賀道子（中電病院）、板羽秀之（広島大学病院）の 2 名の技師が任命された。

総会は、総会員数 1,465 名に対し、出席者 62 名、書面表決票 155 名、委任状 908 名、出席者総数 1,125 名で会員の過半数に達し総会が成立するとの中川資格審査委員長の報告および議事運営の説明後、各審議に入った。

第 1 号議案は平成 23 年度事業方針案で、板羽会長から **1) 臨床検査室の強化と臨床に役立つ臨床検査技師教育**（良質な検査室運営によって病院経営の収益向上に寄与し、厳しい医療体制に対応できる検査室作りをバックアップする。臨床をサポートできる臨床検査技師を育成するために生涯教育の充実を図る。）**2) 新法人体制への移行**（公益法人制度改革により、公益社団および一般社団のいずれかに決定し、国民の健康維持、推進のための臨床検査を重点目標に、公益事業活動を展開する。）**3) 効率的な執行体制の確立**（新法人制度対応のため、定款改正、諸規定の見直しを図り、より効率的な業務体制を確立する。）**4) 臨床検査技師の地位向上**（認定技師制度の資格取得者の推進を図り、施設や技師会等で活躍できるように、より充実させて地位向上を目指す。また、AIDS キャンペーン事業等の公益事業を通じて、社会的に認知された地位の確立を推進する。）**5) 精度管理、標準化、検査データの共有化**（行政及び関連団体と連携強化を図り、精度管理調査の推進、県内の検査データの標準化、基準値の統一化を行い地域医療に貢献する。）**6) 組織強化**（各地区との連携による組織強化推進と財政基盤の安定維持を行う。また、小規模病院等の技師会活動に参加できる体制を推進する。）の 6 つの事業方針の提案がされ、引き続き事務局、学術部、経理部、渉外・法規部、組織調査部、広報部より各事業方針の提案がされた。第 2 号議案は、小原経理部長より平成 23 年度収支予算案の提示がされた。第 1 号議案、第 2 号議案ともに拍手多数で承認された。

第 3 号議案は、板羽会長から「**公益法人制度改革に伴う新法人移行方針案**」（公益法人制度改革により、平成 25 年 12 年より新制度・新税制が全面施行されることになり、広島県臨床検査技師会としては日臨技や他県技師会の動向を見ながら公益法人または一般社団法人に移行するかを検討してきた。公認会計士や司法書士と相談した結果、現在行なっている事業は一般社団法人としての内容となっていること、公益と一般の法人格に差がないこと、税法上でも収益事業を行なっていない当会では負担は少ないこと、また一般社団法人でも今まで通りの活動は行なえるとの見解を得て、一般社団法人を申請することにしたい。）が提案され、拍手で承認された。

その他、会員より 1) 広島県精度管理向上研修会を他地区でも開催して欲しい。2) 他コメディカルとのタイアップ研修会を開催して欲しい。との要望があり板羽会長、藤上学術部長より前向きに検討するとの意向が示された。広山和則議長が質疑応答、緊急議案の提示の有無を確認後、技師会の益々の発展と理事への感謝とお礼を述べ、総会役員・書記の解任、丹下副会長の閉会の辞により無事終了した。

## 平成 22 年度 第 4 回理事会議事録

日時：平成 23 年 1 月 15 日（土） 14：00～16：30

場所：広島市立広島市民病院 2 階会議室

出席者：板羽・水野・足免・丹下・田中・藤上・竹本・小原・矢野・笹谷・米田・河岡・荒瀬・播野・長岡・森本・平賀・岩増・有谿・新川・巻幡・新田・若林・坂田

書記：組織調査部（新川）

### <報告事項>

- ・来年度より中国地区技師会は無くなり、日臨技中国支部となる。  
（中国地区主催の研修会は開催できなくなる予定。）
- ・行事予定表を止めて行事予定は HP でのみでよいかアンケート調査を実施予定。
- ・広臨技としては一般社団法人への移行申請を目指す。

### <各部報告>

#### ●事務局

- ・速報および広臨技総会の委任状を発送を実施した。
- ・事務所トイレの改装工事。
- ・5 月に日臨技総会は定款改正のため 2/3 の委任状が必要。（各理事に委任状回収の依頼をした。）
- ・新春祝賀会が開催されますのでご協力をお願い致します。

#### ●学術部

- ・医学検査学会の座長に 4 名を推薦した。
- ・県学会の座長に 7 名を推薦した。
- ・広臨技推薦論文を医学検査へ掲載予定
- ・論文投稿を積極的に推進する（七夕研修会、地区学会などの一般演題）
- ・広島県地域保健対策協議会  
→新型インフルエンザ 市民 3 万人規模のアンケートを実施し、対策に役立てる。  
（中間報告を次回速報に掲載予定）
- ・技師会行事予定表 →締め切り予定日を厳守する。（締め切り後は HP を利用）
- ・部門予算に関して研修会に関して部門予算でまかない会費・協賛金を徴収しない。  
（協賛金は業者から徴収できなくなり、展示・広告費用収益のみとなる。）
- ・中国地区主催の一般検査研修会に関しては開催出来ない可能性あり。

#### ●経理部

- ・1 月現在の会員数  
継続 1,416 名・新人 68 名・県会員 1 名 →全会員数 1,485 名
- ・事務所維持協力金返却状況

2010 年対面返却 6 月～9 月	612 人	631 口	631 万円
2010 年振込み 11 月～12 月 2 日	186 人	202 口	202 万円
2010 年振込み 12 月 16 日	26 人	26 口	26 万円
寄付	27 人	33 口	33 万円
1999 年～2005 年までの一般会計立替	145 人	150 口	150 万円
2006 年～2009 年に返却	62 人	64 口	64 万円
総計	1318 人	1398 口	1398 万円
残り	260 人	292 口	292 万円

#### ●渉外法規部

- ・世界エイズ day について  
12/4 アリスガーデンにて「世界エイズデーキャンペーン in 広島」ボランティア 20 名で実施。  
12/4 アリスガーデンにて「世界エイズデーキャンペーン in 福山」ボランティア 7 名で実施。  
（HIV 簡易検査&啓発グッズを配布）→簡易検査：広島 98 名 福山 37 名

- ・新公益法人について  
12/14 末広司法書士事務所へ相談に伺い 1/15 理事会にて勉強会を依頼。
- ・成人祭 de エイズ検査について  
1/10 アルパーク周辺にてキャンペーン ボランティア 20 名で実施。  
(HIV 簡易検査&啓発グッズを配布) →簡易検査：22 名
- ・ピンクリボン de 広響について  
1/12 ブレストケアピンクリボンキャンペーン広島実行委員会 3/25 ピンクリボン de 広響実施予定。  
(協賛チケットは 4,100 円)
- ・バレンタイン de エイズ検査について  
2/12 アリスガーデンにてキャンペーン実施予定。(ボランティアを募集)

●組織調査部

- ・3/5 開催予定の連絡責任者・技師長等会議の案内を配布した。
- ・会員のインターネット環境、法人化についてのアンケート調査を実施する。

●広報部

- ・1/16 の速報用原稿締め切り予定日を厳守する。
- ・(社) 広臨技創立 60 周年記念・法人化 20 周年記念誌の原稿依頼をする。

<各理事報告>

●広島地区

- ・特になし

●呉地区

11/10	第 3 回呉地区細胞診研修会	14 名
11/18	呉地区微生物研修会	11 名
11/19	呉地区血液研修会	16 名
11/25	呉地区ボーリング大会	35 名
1/28	呉地区管理研修会	事業予定
2/4	呉地区血液研修会	事業予定
2/24	呉地区微生物研修会	事業予定
3/9	呉地区研修会	事業予定
3/9	第 3 回呉地区細胞診研修会	事業予定

●東部地区

11/3	第 165 回備後糖尿病チーム医療研修会	3 名
11/25	第 4 回生涯教育講座	76 名
11/27	第 14 回東部地区学会	70 名
11/28	福山医学祭	58 名
	東部地区精度管理研修会	31 名
12/2	東部地区感染制御研修会	31 名
12/4	エイズキャンペーンふくやま	7 名
1/15	第 164 回病理細胞診研修会	事業予定
2/3	第 5 回生涯教育講座	事業予定
	東部地区レクレーション	事業予定
	管理運営研修会	事業予定

●東広島地区

11/5	東広島地区の現状報告&意見情報交換会	23 名
11/18	第 12 回がん関連研修会	20 名
11/29	「POCT の現状と将来性」	20 名
	第 13 回がん関連研修会	事業予定

●北部地区

11/20	第3回北部地区研修会（凝固・体腔液検査）	16名
12/4	第4回北部地区研修会（血液製剤・遺伝子）	22名

●県学会について

H23年3月5日～3月6日 三次ロイヤルホテルにて開催する。

一般演題 11 題・シンポジウム 5 名・ランチョンセミナー 2 社・教育講演・一般公開講座

→県学会の内容は速報にも掲載予定。（協賛企業 5 社・展示 10 社・広告 21 社）

宿泊に関しては、岩増理事に連絡要相談する。（三次ロイヤルホテル 5000 円）

<討議事項>

●標準化事業

・基幹施設 4 施設+17 施設が参加。

・2/13 基準範囲共有化についてのアンケート調査報告。（第 13 回検査部長・技師長会議）

・認証施設については書類に不備が多かった。（技師長は履習証明書が必要となる。）

●JAMT

・来年度からの事業計画 →日臨技が登録することになる。（早めに計画すること。）

・連絡会・交流会は点数が取れなくなる。

●H23 年度会費

・2/28 に引き落とし 日臨技+広臨技=17,000 円

会員登録も日臨技が実施する。

日臨技入会金は徴収しない。（広臨技は検討が必要である。）

・入会に関して新入会員は日臨技 HP よりダウンロードして日臨技へ提出する。

●平成 23 年度事業方針案の検討

→別紙資料参照

訂正：施設認定などの取得支援に関する研修会を開催する。

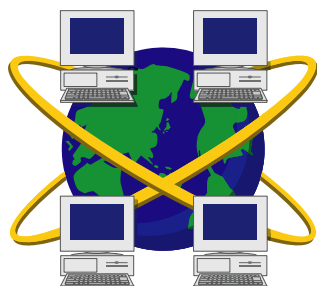
●事務所維持協力金の返金

・事務所維持協力金の返金作業は 3/31 をもって終了とする。

---

## 広臨技 メーリングリスト（ML）の紹介

---



# 広臨技MLコミュ

広島県臨床検査技師会の会員が参加できるコミュニケーションの場が、「広臨技 ML コミュ」です。

会員相互の情報交換の場として、メーリングリスト（ML）を運用しています。

参加申し込みはこちら



E-Mail [webmaster@hiroringi.or.jp](mailto:webmaster@hiroringi.or.jp)

<http://www.hiroringi.or.jp/ml/>



## エイズのボランティアに参加して

山陽女子短期大学 臨床検査学科 1年

佐々木 安由加

今回、エイズのボランティアに参加して、若い人たちがエイズを軽視していることを強く感じました。

日本国内でも年々HIV感染者は増え、そして、特に若年層で増えています。成人式ということもあり、より多くの若い人にエイズの検査を受けてもらいたかったのですが、実際そうはいかず、成人式帰りに検査に来られた方は十数名でした。ボランティアをすることにより、若い人たちがエイズに対して関心のないことが分かり残念でした。このような機会だからこそ、エイズに対して関心を示し、少しでも良いからエイズについて考えてほしいと思いました。

当日は、実際に臨床検査技師の方たちが検査をしているところも見学させていただき、その際私たちに検査方法などを詳しく説明していただき大変勉強になりました。また、ボランティア中、臨床検査技師の方たちは、ただ啓発品を配るだけでなく、渡す時に「どのような検査をするのか」、「どのくらいの時間がかかるか」などを、丁寧に説明されていました。私は「エイズの無料検査を受けませんか。」と言うのが精一杯でした。このボランティアを通して、コミュニケーションの大切さを感じることができました。次回参加する時には、積極的に声をかけ、もう少し言葉を発する努力をしようと思いました。

今回、ボランティアをするにあたって、エイズについては、学校の授業で習っていましたが、検査法については血液検査という知識しかなく、どのくらい血液を採取するのかさえ知りませんでした。人に検査を受けてもらうなら、まず自分がその内容を知っていないと伝えることはできません。もう少し勉強をしておけば良かった、というのが反省する点でした。

キャンペーンに参加して、病院や施設以外で働く臨床検査技師の姿を、初めて目にしました。病院や施設で働く臨床検査技師しかイメージのなかった私は、改めて臨床検査技師の在り方を考えました。これから臨床検査技師になるためにも良い経験となりました。ありがとうございました。



谷口元会長と啓発活動



ほり整形外科で簡易検査実施



ボランティアスタッフによる予防啓発品配布のよう



# 随想録

## 『 至福の時 』

須波宗齊会病院 米田 有希

現代人は誰しも何らかのストレスを抱えていると云われる昨今、皆さんはどの様な方法でストレスを発散されているのでしょうか？

スポーツ、旅行、ドライブ等、人それぞれにストレス解消の仕方が違いますが、わたくしの場合毎晩の入浴が一種のストレス解消の術となっております。少し熱めのお湯を入れた浴槽に、その日の気分で入浴剤を選び入れ「ボケー」と何も考えずにお湯に浸かり、友人から教えてもらったリンパマッサージや美顔マッサージ（効果の有無は定かで無いが…）をする。気分が良い時はお気に入りの曲を歌いながら入浴。う～ん、最高！！

皆さんもご存知でしょうけど、最近、雑貨屋さんに行くと本当に沢山の種類の入浴剤が売られているんですよ～

一袋ずつ包装されているので少し割高ではありますが、香りや効能などが違うので、どれを購入するか、一つ一つ手に取り考えるのも楽しみのひとつです。数ある入浴剤のなかで今、一番お気に入りののが、デトックス効果のある入浴剤です。身体に溜まった老廃物を汗と共に出す。それと同時に身体も芯から温まり大変気持ちいいです。ただ、気をつけないと、のぼせて気分が悪くなる事も…入浴方法もきちんと説明されているので、それに従えば問題ないのですが、長風呂すればするだけ効果があるだろう！なんて欲を出すとその様な事もありえますのでご注意ください。（経験者は語る…）

ですが、本音を吐くと時には入浴剤でなく本物の温泉でのんびりと過ごしたい！！

さあ、寒い冬もそろそろ終わりです！

皆さん、ストレスを発散しに外に出掛けてみませんか？

### 平成 23 年 4 月 行事予定表

7	木	常務理事会	広臨技事務所	18：30～20：30
21	木	呉地区輸血懇話会	呉共済病院西館 3 階検査部	18：30～20：00
28	木	呉地区研修会	呉医療センター 2F 研究部カンファレンス室	18：30～20：00

※平成 23 年 4 月の行事予定詳細や変更は、広臨技行事予定表およびホームページ

[info@hiroringi.or.jp](mailto:info@hiroringi.or.jp)でご確認下さい。



### 広臨技求人のご案内 (2011. 3. 14 現在)

問合せ先 (社) 広島県臨床検査技師会 事務所 FAX (082)502-6031

技師会ホームページから求人登録をすると求人の詳細をご案内します。

受付 No	受付日	施設形態	所在地区	雇用形態	採用人数	募集業務内容
181	平成 22 年 11 月 2 日	病院	広島市中区	②臨時職員	2 名	臨床検査
182	平成 23 年 1 月 18 日	病院	広島市安佐北区	②臨時職員	1 名	病理・細胞診
183	平成 23 年 1 月 18 日	検査センター	東広島市	③パート	1 名	血液・血清・生化学・寄生虫学
184	平成 23 年 1 月 24 日	病院	広島市中区	②③	各 1 名	臨床検査業務全般
185	平成 23 年 1 月 24 日	診療所	福山市	①正社員	1 名	腹部エコー・採血・心電図等
187	平成 23 年 3 月 14 日	検査センター	広島市西区	①③	各 1 名	血液検査・事務全般・集配業務